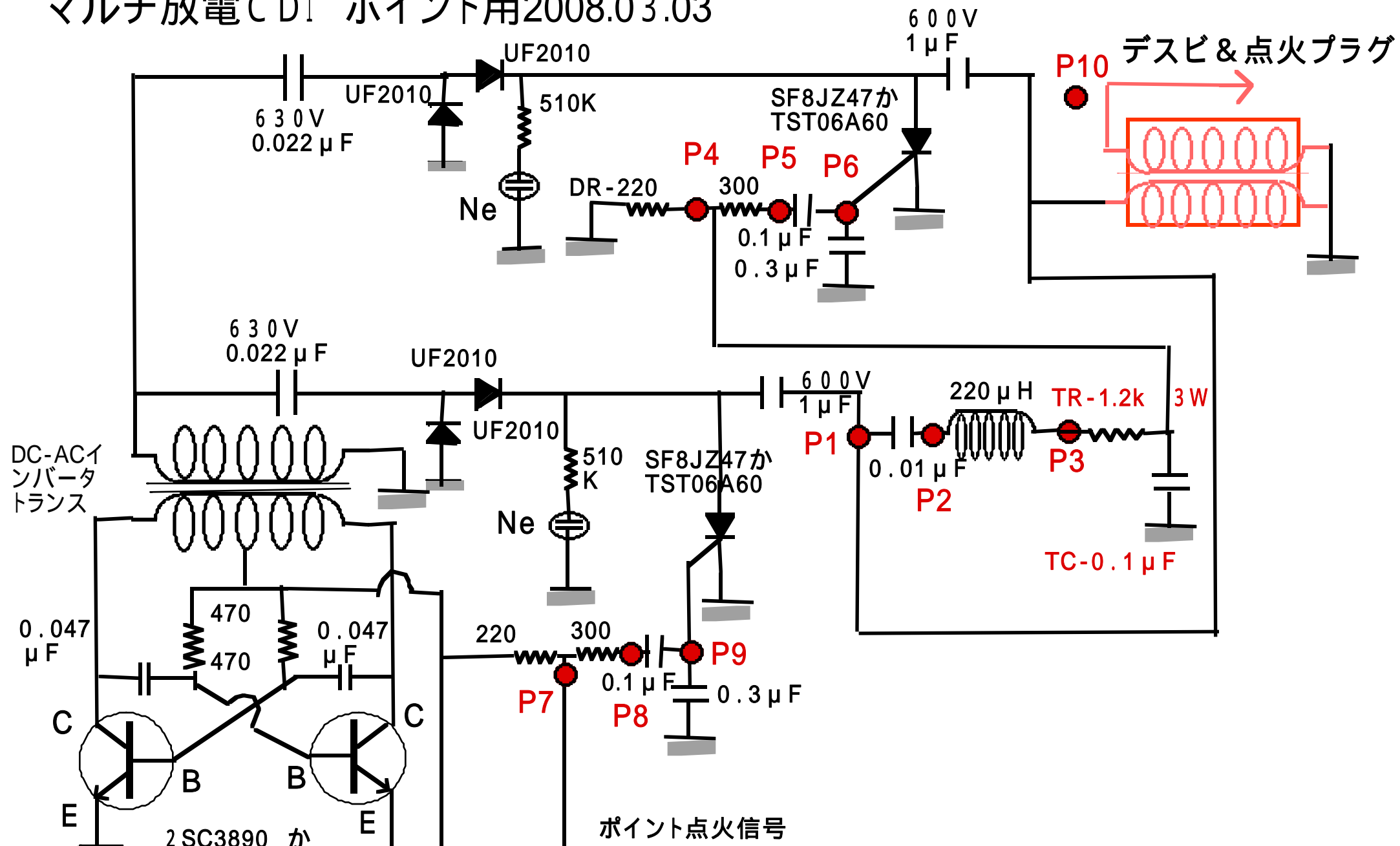


マルチ放電C DI ポイント用2008.03.03



TCの値で0.1µFが小さいと時間差が大きくなる。実車では0.1µFで試験、
P3後の3W抵抗は高压**P1**の電圧により調整、無信号450Vで1.2k ぐらい、
 高い場合は大きくする。大き過ぎるとマルチにならない、小さ過ぎると全体のトリ
 ガ動作が変になる。放電間隔はTCとTRの値で調整
 DR-220 は電圧降下用、これが無いとP4点が高回転時に300V以上になる。
 SCRはSF8JZ47を手元にあったTST06A60に変更してます。